

令和5年度 学校評価書 (計画段階(実施段階))

福岡県立八幡高等学校

自己評価
学校運営計画(4月)
学校運営方針
昨年度の成果と課題
新型コロナウイルス感染症に対して保健委員会を中心とした生徒の積極的な感染予防を行う中、学習や学校行事、部活動に生徒が主体的に取り組み、成果を上げることができた。また、生徒の進路実現に向け、授業改革、教科科目横断型授業の促進、進路指導・入試対策の充実が組織的に図られ、生徒の意欲的な学習に結びついた。今年度は、これらの取組を一層充実させるとともに教育相談の充実等、外部機関との連携を強化して生徒の抱える課題にも早期に丁寧に対応していきたい。また、新学科設置準備を組織的に推進し、関係機関との連絡調整のもと、魅力ある新学科を創設するとともに、広報活動を積極的に展開していきたい。更に理数科と切磋琢磨する新学科設置によって学校全体の活性化を図り、新たな時代の要請に知恵と工夫でしなやかに応え、時代を切り拓く特色化に果敢に挑戦していきたい。

評価項目
具体的目標
具体的方策
評価(3月)
次年度の主な課題
教科指導の充実と特色ある学校づくりの推進
自己指導能力育成を目指した生徒指導
志の育成と特色ある教育活動の推進
教員の資質・能力の向上

自己評価及び学校関係者評価を踏まえた今後の改善策

- ICT機器の効果的な利用法を含め、教員間で授業のスキルアップに向けた情報共有に努めたい。
生徒の困り感を早期に捉えることができるようきめ細かい観察力や学校生活アンケートの充実を図っていききたい。
教科科目横断型授業や夢現プロジェクトの取組がキャリア教育に活かされる等、様々な教育活動が相乗効果を生むよう内容の改善に努めたい。
学校内だけの学びに留まらず、外部人材の活用を図る等、生徒が文理の枠にとらわれず多面的なものの見方ができる教育活動をより一層進めたい。

学校関係者評価
自己評価は
A: 適切である
B: 概ね適切である
C: やや適切である
D: 不適切である

項目ごとの評価
学校関係者評価委員会からの意見
次年度の課題について、方針は問題ない。ICT機器の利用については、生徒が授業に楽しく臨み、より多くの情報や知識、思考力を得られるようこれからも教員のタブレット等のスキルアップを期待する。
学校行事等を通して生徒が成長していることを感じ取ることができる。生徒指導は、いじめ問題等とてもセンシティブな内容が多いが、教員の細かい心配りのある対応がなされていると感じる。スクールカウンセリングは今後、より一層充実させてほしい。

評価項目以外のものに関する意見
学校内での教育活動が充実していることは伝わった。今後は外部専門家の方の話を聴く機会をより多く持ち、生徒の興味・関心を高めると、生徒の積極性、学びの充実がより一層図れると思う。